

アンケート

の生活苦の問題は最も身近に感じられ、国内産石炭の需要増加という根本策が実現するまで、現在危機にある人々への福祉に出来るだけの協力を致したいと思っております。

③ 新しい政府によつてどんな政策がとられても現に自身の生命の保持すら成し得ない人々が直ちに救われるはずは決してありません。一人でも多くの卒業生が出て協力出来ますよう、社会福祉学科の発展を願つております。

高山 皓子 (新制二回生)

東京都在住

④ 忙しい主婦生活の中で子供の遊び、動作をみながら、すでに精神衛生の事を思つたり、御近所のお子さんの遊びを見て児童福祉を思い……。又忘れられた子等、失業に苦しむ人について、社会制度の方法を強く考えさせられる。福祉科の学問が現実の社会に強いつながりを持っている点は主婦生活をしていて本当に役立つ学科でよかつたと思います。

⑤ 過剰人口と産児制限の問題、狭い国土でひしめきあう人間、そこから起る教えきれない諸現象に常に憂国の念でいつばいです。すべての人が一定の間人らしい生活が出来るまでゆけたらと常に思っています。又ヒロボン中毒者問題も同様青年層の多くむしばまれゆく姿に心が痛みます。何とか早くこの様な事を撲滅し明るい社会を作りたいと思えます。

⑥ 女子大祭の時に展示された学生の皆様の大きな努力の結晶を見せていただき、

今年の就職

今年の卒業予定者五五人中 就職希望者四六人 希望職種は、教員(十一人) 研究所(八人) 社会事業施設(七人) 出版(五人) 放送(五人) 会社(五人) 官庁(四人) 新聞(一人)の順です。

◎ よろしく、御紹介の程、お願い致します。

うれしく思い感心も致しました。現在の福祉科がビチビチとした力強さを感じさせ、家庭にこもりがちな私には強く刺戟もされ又発奮もいたしました。又「社会福祉I集」のような立派な本をどしどし発行して下さい。